



ここまで進んでいる市の防災施策



action 1

防災の要 武雄市消防団

武雄市消防団では1400名を超える団員が活動しています。全国で大規模災害が発生しているなか、その必要性は年々高まっております。昨年12月には、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が制定されるなど、地域に密着した住民の安全と安心を守る重要な役割を担っています。

**まちを守るために
あなたの力が必要です！**

消防団員は、年齢層も幅広く、普段は会社員、自営業、農業など別に仕事を持ちながら、火災や災害が発生した時には、「自分のまちは自分たちで守ろう」という使命感をもって活動されています。

しかしながら、近年は、消防団員の確保が難しくなっています。地域の安全と安心を守るために、あなたも消防団に入りませんか！

【入団資格】
○18歳以上の男女
○武雄市内に居住または勤務されている方



お問合わせ・お申込み
安全安心課
☎0954-23-9223

共に地域を守りましょう！

action 2

災害応援協定

大規模な災害が発生したときは、武雄市だけでは対応には限界があります。そのようなときに備え、国、県、他の自治体や各種団体、民間事業所などの支援体制を確保するため、災害応援協定の締結を推進しています。

3月27日には、NPO法人コメリ災害対策センターをはじめ3つの事業所・団体と災害応援協定合同調印式を開催。

市では、協定を締結いただいている団体をはじめ、市民、消防団等の連携を深め、皆様の生命、財産を守るため、防災体制の充実に努めていきます。



(右から)
佐賀県LPガス協会武雄支部 支部長 小田利一 様
NPO法人コメリ災害対策センター 常務理事 古澤通規 様
小松 政 市長
国土交通省九州地方整備局武雄河川事務所 前所長 岡田智幸 様

action 3

総合防災訓練



毎年9月の防災週間に合わせ、「武雄市総合防災訓練」を実施しています。訓練は、市民の皆さんも参加し、警察、消防、自衛隊、民間事業所などと協力して実施しています。地域から要望があった場合は、訓練のお手伝いや防災出前講座も行います。

action 4

食料、資材の備蓄

災害発生時に避難された方へ提供できるように、アルファ米、クラッカーなどの食料、飲料水、毛布などを備蓄しています。今後は、アレルギー対応食品や生活物資等も必要であり、計画を見直し、備蓄体制を強化します。

pick up

地域力で地域を守る 『たちばな』の取組み

大雨のたび、道路の冠水や家屋の浸水に悩まされてきた橘町。災害に備え、独自の取組みが進んでいます。

昨年度は、公民館と関係機関が連携し、「たちばな防災講座」(全4回)が開催され、毎回70名を超える町民の皆さんが参加。第3回の講座では、「防災まちあるき」など前回来での講座や、実際の災害経験等をふまえ、互いに意見を出し合いながら地域に潜む危険を地図上に書き込み、防災マップを作成。

この取組みでは、「地域に根差した防災マップ」が作られ、「地域と関係機関の連携」が深まっただけでなく、地域の人が士が防災について互いに議論したことにより、「自ら考え、行動する地域力」がより一層に高まりました。

この人と人のつながりが「地域力」となり、まちの安全安心につながっています。

